

【超楽】マニュアル

《事前準備》

【超楽】を立ち上げる前に、事前準備が必要です。



- ・コピー機を使って、野帳をスキャンします。
- ・JWCADの初期では、jpgデータは対応していません。以下を参考に、「Susieのだうんろーど」で、プラグインをダウンロードしてください。



<http://llc.kd-house.com/jwcad/jwcad-jpg-windows10-01/>

《ファイルタブ》

【超楽】

←《ファイルタブ》

ファイル

ファイル変換

ここに「フォルダ」をドロップしてください
下記、初期設定の数値で変換されます。
※ドロップしたフォルダに、生成されます。

停止

超楽

初期設定

ファイル名:

透明度を決定するためのファイルを用意してください

①選択

①

③透明度で変換

③

①-1

①-2

②

透明度

23

23

②-1

②-2

明るさ

71

71

②-3

②-4

☐ 方眼紙目盛消去

手書き線の強調

5

③-1

選択したファイルの中心を1/1で表示しています。

有効期限 2024/12/31

下記は、一回設定すると、あとはその設定で実行されます

① 透過数値を決めるための参考データを選びます。
(データ、任意で大丈夫です。)

①－1 選択されたファイル名が表示されます。

①－2 選択されたファイル画像が表示されます。

(※画像の中心が 1 / 1 で表示されます。)

② ここで、画像変換の数値を設定します。

②－1 透明度を調整します。(スライダー、スピンボックス共に連動されているので、どちらでも変更可能です。)

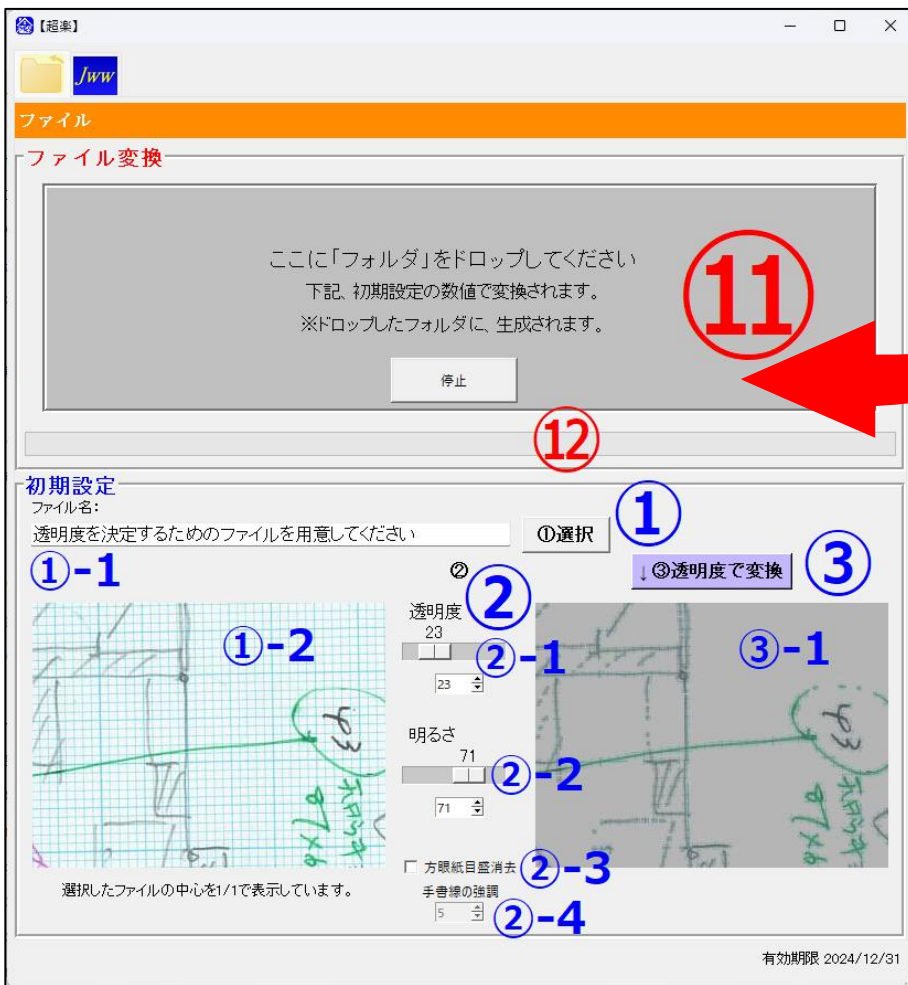
②－2 明るさを調整します。(スライダー、スピンボックス共に連動されているので、どちらでも変更可能です。)

②－3 方眼紙目盛を消去できます。

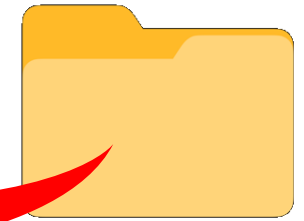
②－4 方眼紙目盛を消去した場合に、手書線の強調ができます。

③ 調整された数値を元に、画像が変換されます。

③－1 変換された画像が表示されます。



フォルダを、
ドラッグ&ドロップ

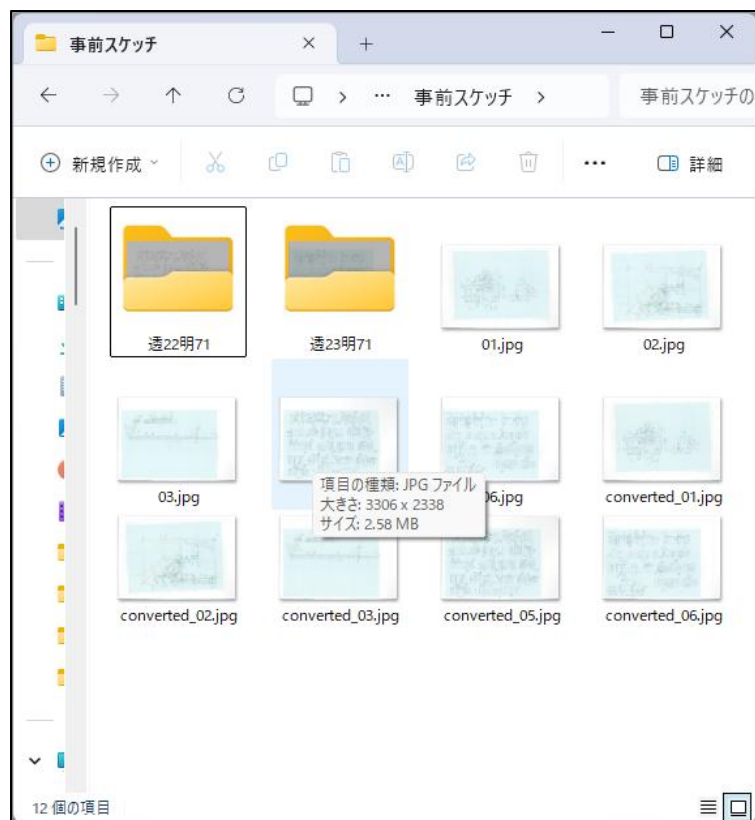


〇〇事前野帳
(jpg フォルダ)

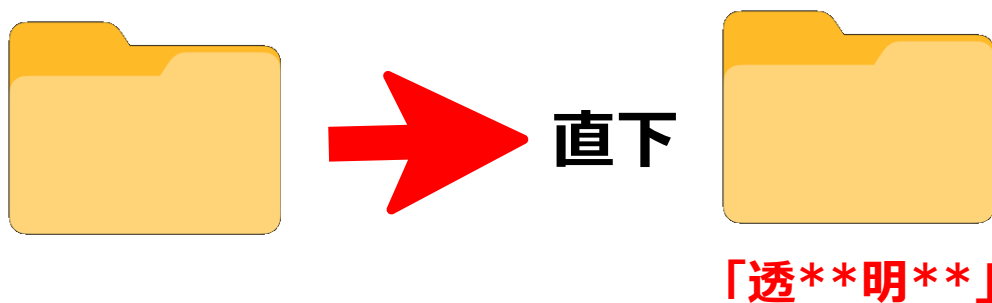
毎回の作業は、⑪だけです。

⑪ 野帳をスキャンしたデータが入っているフォルダを、ドラッグ&ドロップしてください。

⑫ 変換されている途中経過がバーとして表示されます。



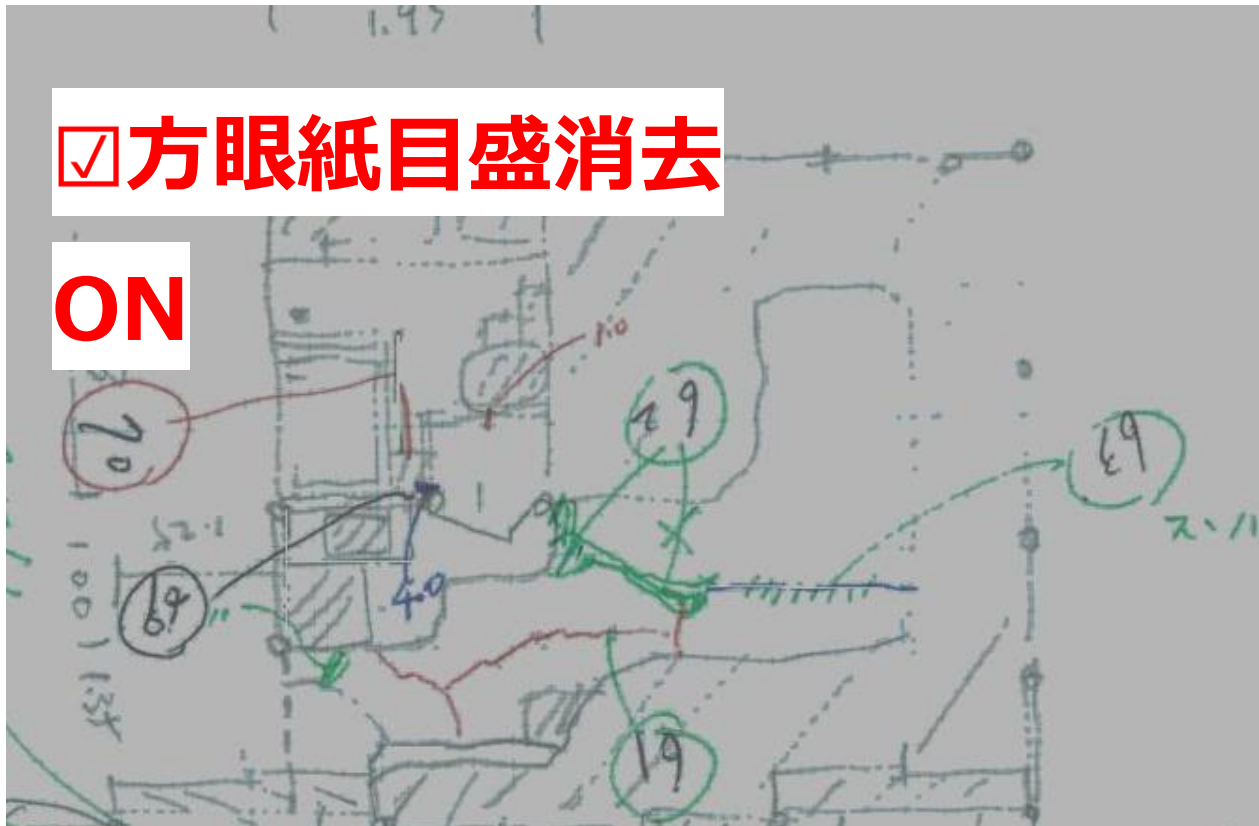
変換データは、スキャンしたデータが入っているフォルダの直下に、あります。



フォルダ名 **「透**明**」**
(設定した、透明度、明るさの数値が入ります。)

☒ 方眼紙目盛消去

ON

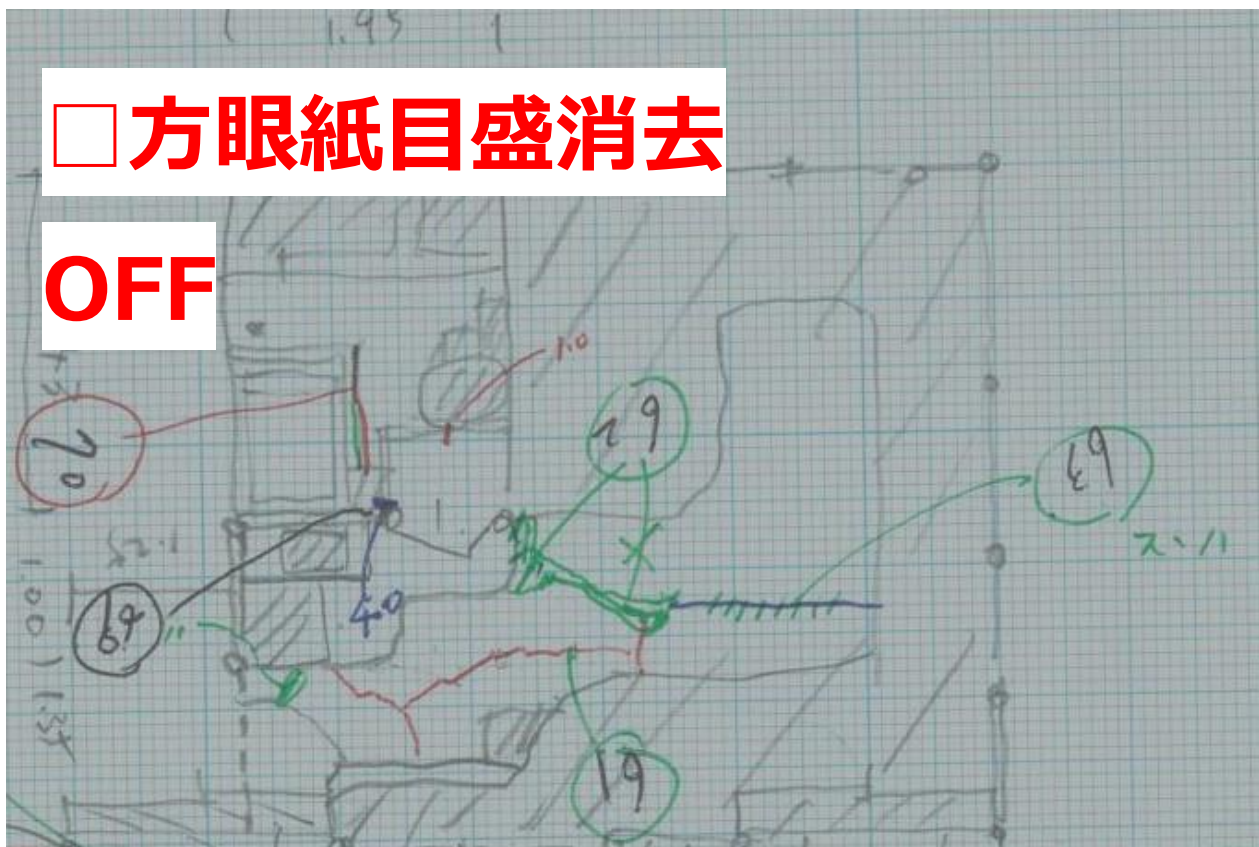


※方眼紙目盛消去は、方眼紙の線の、「まっすぐで長い」という特徴で消しています。

薄い手書き線や、長く真っ直ぐに引いた手書き線は、誤って消される可能性があります。

☐ 方眼紙目盛消去

OFF



「JWWタブ」

【超楽】

JWW ←「JWWタブ」

J W _ C A D

ファイル名:

貼り付ける画像を選択してください

①-1

①

①選択

②

Wの仕様により縮小されて貼り付くので拡大値で補正して貼付します。

※貼り付ける図面(JW)を、
立上げていてください。

420.000

②拡大値

数値を保存

A3拡大値 420.0(297.0)
A4 210.0(297.0)
B4 364.0(257.0)
A2 594.0(420.0)

③-1⇒

③図面に貼り付ける

③

【共通説明】

[画像が傾いていたら、JWWの測定で角度出して移動調整をしてください。\(クリックで説明サイトへ\)](#)

- 平面図は、柱付きの壁、柱付きの建具の部品を次々と重ねて行きます。線の重なりは、編集→データ整理→重複整理で行います。作図には、補助線のマス目や、グリッドが必要です。

< 事業損失 >

- 1ファイルごとになりますが、たとえばAグループから順に平面、配置、立面と一気に貼付けておく方法もあります。

- ブロック塀を500×200で描いて、X方向のみを400に変更することができます。
JWWの移動一倍率の窓に「400/500..1」の記入で可能です。
写真の円も変形するので、あらかじめ扁平率80の楕円にしておいて、補正後円になるようにしてください。

< 物件 >

- 柱間910の場合は、超楽の拡大値を調整してください。拡大値420.000×0.91=拡大値382.200で貼付けてください。
- 電気設備なども重ねることで、記入モレがなくなります。

有効期限 2024/12/31

- ① 図面に貼り付けたいファイルを選択します。
- ①－１ 選択されたファイル名が表示されます。
- ② 普通に貼付けるとJWの仕様で、小さく表示されます。ここで拡大数値を使って、1 / 1 0 0に調整します。（A 3野帳の場合は、4 2 0 . 0 0 0が設定値です。）
- ③ ボタンを押すと、図面に貼り付きます。
- ③－１ 貼り付ける図面を、立上げていてください。

《立上げているJWが一枚のみのとき》

自動で認識して貼り付きます。

《立上げているJWが二枚以上のとき》

メッセージボックスが出ます→OKを押す



画面下のバーから、貼り付けたい図面を左クリックで選んでください。



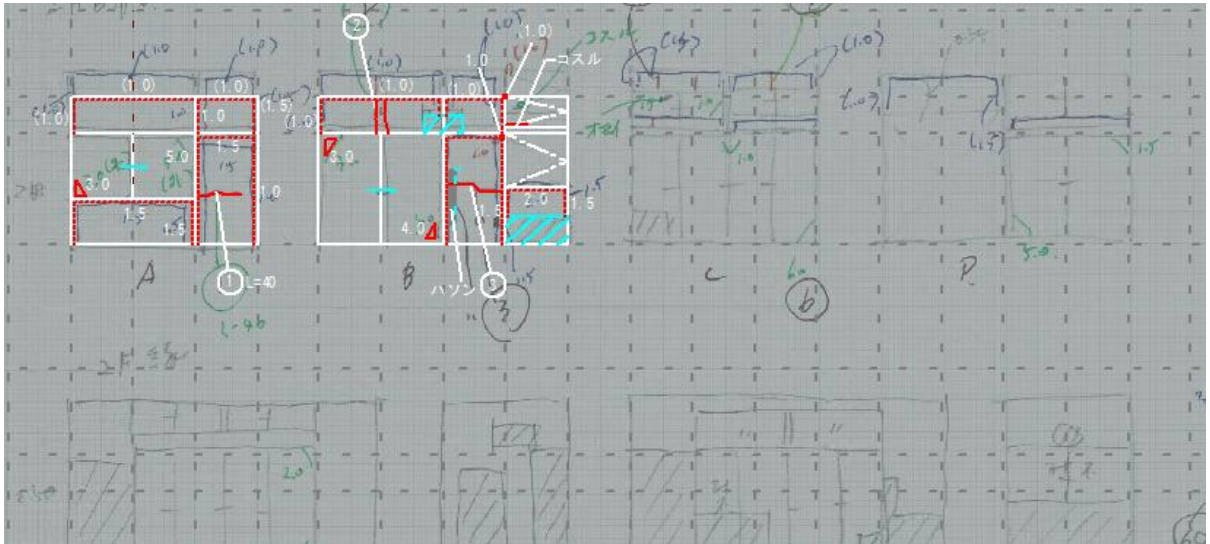
03 JW貼付け

動画で説明

[クリック](#)

以降は見なくても、使えます。

《【超楽】で描きやすくなるJW設定（案）》



【設定⇒基本設定⇒色・画面】

jw_win

一般(1) 一般(2) 色・画面 線種 文字 AUTO KEY DXF・SXF・JWC

線色・線幅設定 色要素(0~255) 画面線幅(1~16) プリント出力線幅(1~500)

画面要素	赤	緑	青	線幅
線色 1	0	255	255	2
線色 2	255	255	255	2
線色 3	0	255	0	2
線色 4	255	255	0	1
線色 5	192	0	192	1
線色 6	128	0	0	1
線色 7	0	0	255	1
線色 8	255	0	0	2
グレー	128	128	128	1
補助線色	192	128	128	1
選択色	230	0	200	1
仮表示色	0	255	255	1

プリント出力要素	赤	緑	青	線幅	点半径
線色 1	0	0	0	1	0.3
線色 2	0	0	0	2	0.3
線色 3	0	0	0	3	0.4
線色 4	0	0	0	4	0.4
線色 5	0	0	0	5	0.4
線色 6	0	0	0	6	0.4
線色 7	0	128	255	4	0.4
線色 8	255	0	0	4	0.4
グレー	192	192	192	1	0.4

画面背景色、ズーム枠(クロスイン)線色要素

背景色	ズーム枠色
0	128
0	128
0	128

文字色

☐ 実点を指定半径で画面に描画(最大100ドット) ☒ 実点を指定半径(mm)でプリント出力

☐ 線幅を表示倍率に比例して描画 (☐ 印刷時に) ☐ 線幅を1/100mm単位とする

端点の形状 丸 線描画の最大幅 (1~100ドット) or 線幅の単位 (1/N mm : -1~100) 100

色彩の初期化 背景色: 白 背景色: 黒 背景色: 深緑 プリント出力色 線幅

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

①
線色1、2
線幅は、2
にした方が
良い。

線色8
補助線も2
にした方が
良い。

【設定⇒基本設定⇒線種】

②
補助線の
ピッチは、
5にする。

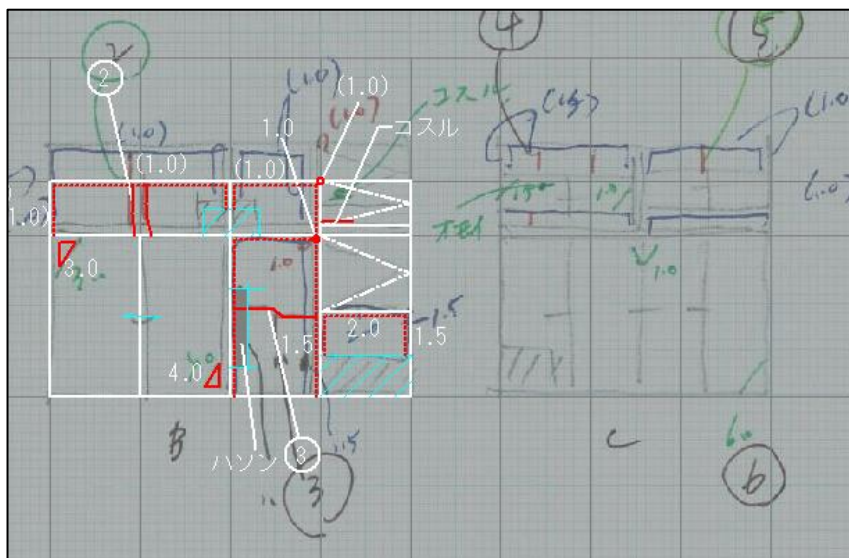
【設定⇒縮尺・読取】



③表示のみレイヤのデータ・・・（☑外す）

④補助線が入っているレイヤを「表示のみレイヤ」
これで、**補助線は、複線とかで拾えなくなります。**

《補助線を直線に替えた案》



下記以外は、前ページまでと同じ設定です。

jw_win

一般(1) 一般(2) 色・画面 線種 文字 AUTO KEY DXF・SXF・JWC

線種 パターン

半角32文字(「」-「」で設定)

線種	パターン
線種 1	-----
線種 2	----
線種 3	----
線種 4	----
線種 5	----
線種 6	----
線種 7	----
線種 8	----
補助線種	-----

ランダム線 1

ランダム種 2

ランダム種 3

ランダム種 4

ランダム種 5

画面表示

1パター	ピッチ
32	1
4	1
8	1
8	1
16	1
32	1
16	1
32	1
4	1

振幅

振幅	ピッチ
1	3
1	4
2	5
2	6
2	7

プリンタ出力

ピッチ
10
3
5
7
3
5
3
5

振幅

振幅	ピッチ
1	5
1	10
2	15
2	20
2	25

線種の初期化

範囲選択仮表示枠の線種No. 1

クロスインカーソルの線種No. 1

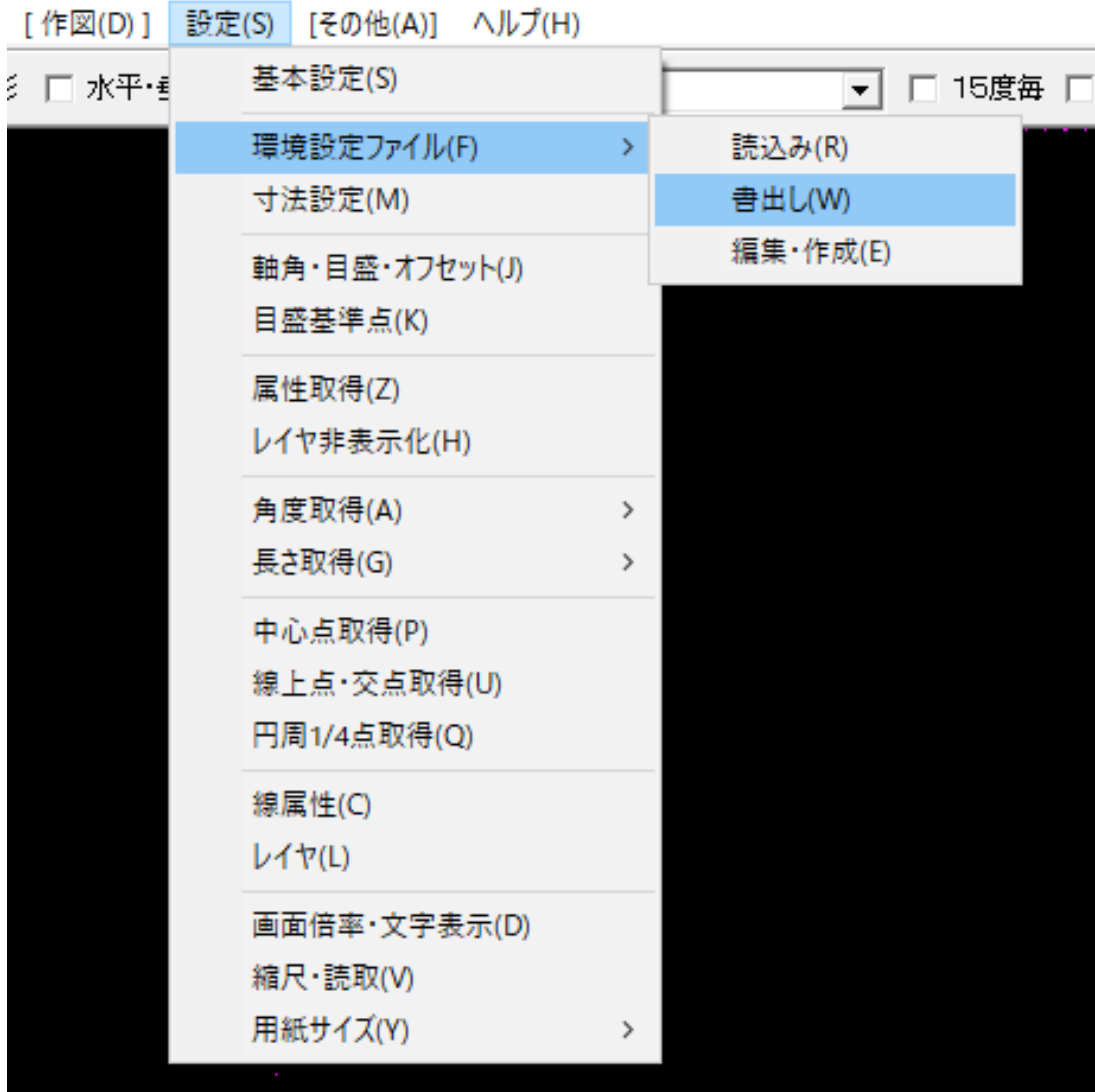
OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

赤丸を、線種1と同じように、手入力で、-----にする。
P.7①の線幅は、1にするか、2にするかは、好みで。

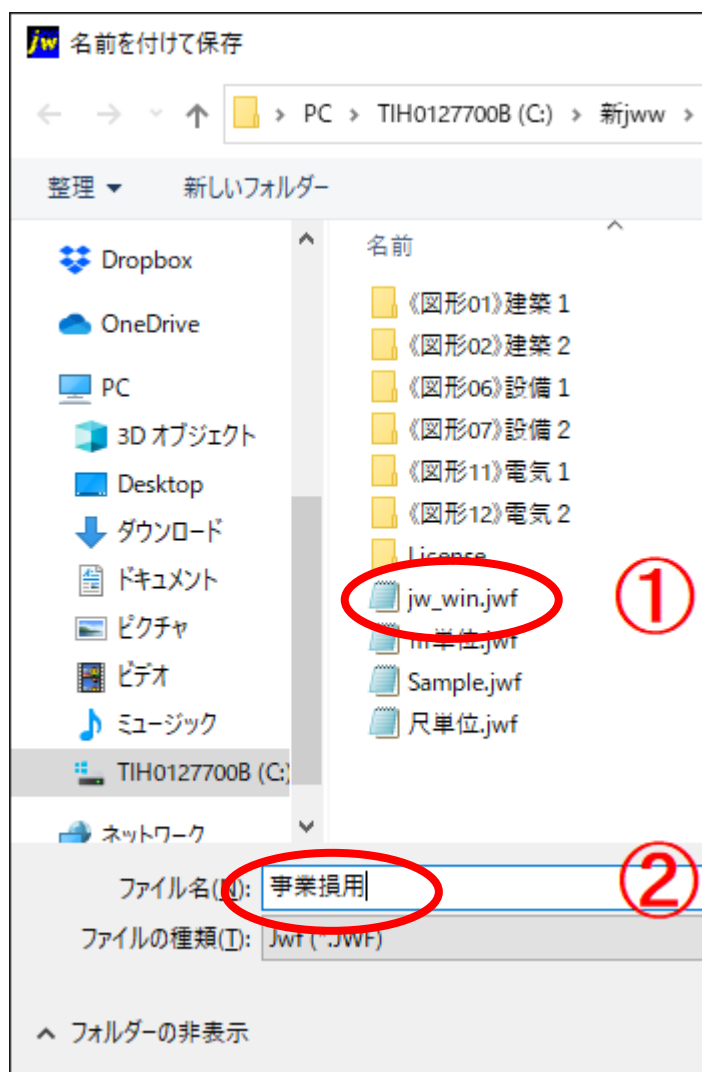
《JW設定案を登録する》

変更したJW設定を、次回以降に利用するには登録しておく必要があります。

【設定⇒環境設定ファイル⇒書出し】



保存のダイアログが開きますので、保存してください。



①を上書き保存すると、次回からも同じ設定で開きます。

②で、名前を付けて保存すると、

【設定⇒環境設定ファイル⇒読み込み】で、呼び出します。